

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市子ども保健医療相談・事故防止センターの運営について

京都市子ども保健医療相談・事故防止センター（京（みやこ）あんしんこども館）では、子どもの保健医療に関する相談、アドバイス等を行っています。また、家庭内で起こる、誤飲や転落、やけど、溺水事故などの現場を再現した子どもセーフティハウスを見学していただき、事故の発生機序と予防対策について説明・指導をしています。

施設の主な取組

○ 保健医療相談

電話や個別面談により、子どもの発育、発達、子育てに関する不安や予防接種、病気の疑問などについて、小児科医師、小児整形外科医師、保健師、看護師がアドバイスをしています。（電話は常時、来館相談は要予約）

○ 団体・グループ研修

大学・専門学校などの各種教育機関や子育て支援機関などに対し、小児科医師による子どもの発達と事故予防に関する講義及び施設見学から構成された研修プログラムを実施しています。

○ 講習会

京あんしんこども館では、様々な講習会を実施して、子どもの事故防止や子育て支援に取り組んでいます。

- ・乳幼児・小学生の心肺蘇生法講習会
- ・チャイルドシート装着と自転車安全走行の講習会
- ・プレママ・パパ教室
- ・乳幼児の健康教室（小児科医師等の講演及び子どもセーフティハウスの見学）
- ・子どもの事故予防の出張講座 など

施設の利用状況（概数）

○ 来館者数

令和6年度2, 892人、令和5年度2, 847人、令和4年度2, 099人

○ 保健医療相談件数

令和6年度768件、令和5年度761件、令和4年度833件

○ 研修・見学者数

令和6年度866人、令和5年度1, 065人、令和4年度862人

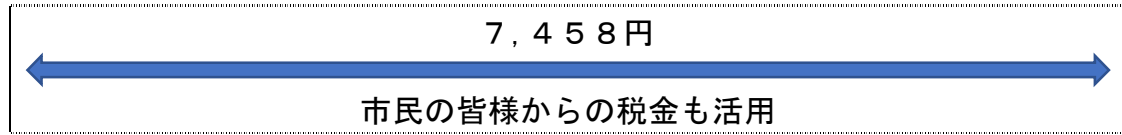
施設運営に関する支出・収入（概数）

来館者1人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は7, 458円（総額33, 753, 307円）です。施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金も活用し、運営しています。

<支出：7,458円（総額33,753,307円）>

利用者1人当たりの運営費（人件費・事務費等）
7,458円

<収入：なし>



施設名 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター

指定管理者名 日本赤十字社

（電話 075-231-8002）

所管課名 京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子ども家庭支援課

（電話 075-222-3939）